

# 大学入学者選抜改革推進委託事業（CBT）

## 背景・課題

「大学入試のあり方に関する検討会議」においても大学入学者選抜におけるCBT化の推進について提言されているが、**CBTで大学入学者選抜を実施する場合、**

- ①マルチメディアの利用など多様な方法での多様な出題・回答が可能となることで、高等学校段階までの「個別最適な学び」の成果をより適切に測定できるようになること、
- ②ポストコロナ時代における大学入試として、受験生・大学の双方の利便性が高まること等、**メリットは大きいものの、均質で質の高い受験環境の確保、トラブル等への対応、社会全体の理解等の課題を高いレベルで克服する必要**がある。

このため、**CBT導入に伴う課題の克服に向け、小規模な試験等におけるCBTの活用についての知見を集積する調査研究を行う。**その際、大学入試センターにおいて行ってきたCBTに関する調査研究の成果も活用する。

## 実施内容

個別大学と大学入試センターが協力して、センターがこれまで開発してきたCBTシステムを活用するなどして、個別大学でのCBT試験の実施方法を検証する。

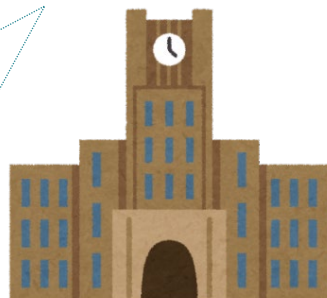
実施結果を踏まえ、大学入学者選抜におけるCBTによる効果的な試験（オンライン面接等も含む）の実施方法について検討を行うとともに、受験者・保護者・高校関係者・大学関係者等に対する普及・啓発を行う等、高い実施水準が求められる試験のCBTでの実施に向けて社会的な理解を得るための取組を推進する。

### <実施イメージ>

#### <実施内容>

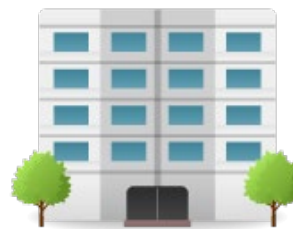
- ・CBT試験の検討・実施
- ・実施結果を踏まえた
- ①効果的なCBTによる試験実施方法の検討
- ②受験者等に対する普及・啓発の実施

大学  
(実施機関)



～協力～

大学入試センター  
(協力機関)



#### <役割>

- ・試験の実施方法等の検討における知見・ノウハウの提供
- ・これまでに開発した「情報 I」を実施するためのCBTシステムの提供（プログラミング問題等）

